

様式 1

令和5年度「業務改善『夢』コーディネーター」取組状況報告書

焼津市立東益津中学校

1 取組内容

- (1) 焼津市教育委員会の不登校研究指定を受けたことによる外部人材の確保・活用
- ① 焼津市教育委員会学校福祉部子ども支援課による不登校生徒への支援、全校道徳（全4回）の実施。
 - ② 相談員の勤務時間増加による、相談室を利用する生徒への対応・支援の充実。
 - ③ 学習支援員による学習支援の実施。
- (2) SSS の積極的な活用。

2 取組の成果

- (1) ① きめこまやかな家庭訪問や面談等の関わりにより、登校状況がめざましく改善された生徒がいる。授業中の家庭訪問や生徒対応等、担任や学年部では対応しきれないところを支援していただいた。職員への情報共有や、有益な指導を得ることができ、たいへん助かった。全校道徳も好評である。内容は、アンガーマネジメント、ネット依存、認知行動療法等である。高い専門性をもった方の講義は内容が充実しているだけでなく、役割演技や活動を交えることによって、生徒の理解を深めることに繋がった。また、生徒が自他を見つめ直し、今後生きていく上で必要な対処法を学ぶ貴重な機会となった。
- ② 相談員の勤務時間が今年度増えたため、相談室で学習する生徒への午後の対応に余裕が生まれた。昨年度までは対応できる職員がいない時間もあつたが、それが解消され、生徒・職員ともに安心して生活を送ることができるようになった。相談員と職員の情報共有や相談も密に行われており、相談室環境が格段に良くなった。
- ③ 青少年相談センター相談員が週1回、学習に悩む生徒の個別の学習支援を行っている。個に合った丁寧な指導で、サポートを受けている生徒の満足度は高い。
- (2) SSS は12月からの勤務であった。配置により、11月までと比べて、職員の業務が大幅に軽減された。これにより、勤務時間内に進められる業務が増え、帰宅時間が早まる一助となった。時間にゆとりが生まれたことで、生徒と関わる時間も増えてきたと感じている。以下は、SSS が担った業務の一例である。

印刷、メールの確認、資料入力 (PC)、資料冊子綴じ込み、ラミネート、郵便物の準備、生徒の提出物確認 (名簿チェック)、書き初め掲示物作成、環境整備、職員トイレ清掃
--

3 取組の課題

- (1) 研究指定を受けているからこそ活用できた支援が多い。研究指定は令和7年度までであるため、本年度の成果を踏まえた上で、更に充実させられるように協議していきたい。ただ、研究指定期間を終えたとき、どのように対応していけばよいか、検討が必要であるし、他の方策を考えなければならない可能性がある。